

石川県中能登土木総合事務所環境行動計画

平成21年12月22日

■取組方針

石川県土木部では資源循環型社会の構築を図るため、公共工事において、建設副産物の発生抑制、再利用の促進、適正処理の推進を基本施策としてリサイクルを推進しています。

石川県中能登土木総合事務所は、土木部の出先機関として中能登地域の土木の現場に関する業務を行っており、建設副産物のリサイクルの推進に取り組んでいるところであり、環境保全全般について、職員一人ひとりが強い意識を持って取り組むことが、環境負荷の低減を図るうえで大変重要なことであると考えております。

また、当事務所は公共機関として、民間企業や県民に対して率先し、模範となるよう行動する使命を背負っているものと認識しております。

このため、私たちは、当事務所の活動が環境負荷へ及ぼす影響を少なくするため、以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動の中で省エネルギー化・省資源化を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- ② 事務用品の購入にあたっては、積極的にグリーン製品を採用します。
- ③ 廃棄物の減量化、資源のリサイクルを進め、資源の有効利用を図ります。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成21年12月22日

石川県中能登土木総合事務所

所長 関戸茂樹

3 環境負荷低減の取組

当事務所では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標—1	二酸化炭素の排出量を、平成 18～20 年度の三カ年平均 (199,971kg-CO ₂) を基準として平成 22 年度までに約 7%削減、186,000 (kg-CO ₂) 以下に削減する。
具体的な取組	(事務所での取組) ① 冷房温度 (28 度) と暖房温度 (20 度) を厳守する ② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源 OFF を徹底する ③ 人のいないエリアの消灯を徹底する ③ パソコン・コピー機の節電機能を活用する ④ ノー残業デー等は定時退庁を徹底する (公用車使用に関する取組) ① エコドライブを実践する ② タイヤ空気圧の調整等、定期的に車の整備を行う ③ 会議・打ち合わせなどの計画を事前に集約し、効率的な公用車の使用に努め、乗り合わせを徹底する

目標—2	「焼却又は埋め立て廃棄物」の排出量を把握しつつ漸減に努めていく
具体的な取組	① シュレッダーの使用は機密書類に限定する ② 使用済みインクカートリッジはリサイクル業者に回収してもらう ③ 詰め替え可能な製品を優先的に購入する ④ 封筒、ファイル、フォルダーは繰り返し使用する

目標一3	コピー用紙の使用量を、平成18～20年度の三カ年平均(3,024kg)を基準として平成22年度までに2,850kg以下に削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料やメール等で收受した資料はパソコン画面上での確認を徹底する ② 書類・資料の電子データ化を進め、メールでのやり取りを徹底する ③ 両面印刷、両面コピーを徹底する ④ 使用済み用紙の裏面を利用する

目標一4	環境に配慮したOA機器・事務用品を使用する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入法で定められた物品の調達にあたっては、グリーン化購入率をできるだけ100%に近づける ② 「石川県グリーン購入調達方針」を再度全職員に周知し、公共機関が率先して取り組まなければならないことを認識してもらう。

4 環境行動計画の実施体制

3に掲げる「環境負荷低減の取組」を推進するために、事務次長を環境管理責任者とし、また、庶務課長を環境推進員とし、具体的な取組の実施状況を以下のとおりチェックします。

- ・「県民エコライフ大作戦」事業所用取組チェックシートに係る取組を継続し、随時職員への啓発を行います。
- ・年間の電力、燃料などの使用量及びグリーン化製品の購入率を集計し、増減理由や達成率などを分析し、次年度以降の行動計画にどう反映させるか組織的に検討します。